

第9回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事要旨

1. 開催概要

日時	平成 29 年 7 月 10 日 (月) 14 時 00 分～15 時 30 分
場所	大宮区役所 南館 2 階 会議室 (指導講座室)
出席者	<p>【学識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉大学 理工学研究科 教授 久保田 尚 ・埼玉大学 理工学研究科 准教授 小嶋 文 <p>【交通管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県警察本部 交通規制課 課長 結城 弘 (道路協議信号機新設補佐 佐々木 一郎) ・大宮警察署 交通課 課長 綾木 誠一 (交通規制係長 北道 明) <p>【道路管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市 建設局 北部建設事務所 所長 丹羽 朗 <p>【沿線自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉敷町 1 丁目自治会 会長 関口 彰一 ・吉敷町 3 丁目自治会 会長 山戸 彰 ・浅間町 1 丁目自治会 会長 秋山 悦男 ・浅間町 2 丁目自治会 会長 矢内 桂一郎 ・大門町 3 丁目自治会 会長 逸見 裕一 ・仲町 3 丁目自治会 会長 山田 雄俊 ・下町明美会 会長 小笠原 恒夫 <p>【協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷川の杜まちづくり協議会 会長 小峯 政昭 ・ " 副会長 本島 紋次郎 ・ " 副会長 横山 好之
欠席者	<p>【沿線自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉敷町 2 丁目自治会 会長 花俣 幸太郎 ・吉敷町 4 丁目自治会 会長 大澤 規郎 ・東町 1 丁目自治会 会長 澤田 好雄 <p>【協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷川の杜まちづくり協議会 副会長 山田 とも子
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・席次表、委員名簿 ・資料 1 氷川参道歩行者専用化検討協議会のこれまでの取り組み ・資料 2 参道周辺居住者との情報共有と意向調査の実施について ・資料 3 歩行者専用化後の設えについて ・資料 4 今後のスケジュールについて ・別紙 説明会資料 (案) ・アンケート調査票 (案) ・参考資料 1 氷川参道歩行者専用化検討協議会設置要綱 ・参考資料 2 第 8 回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事要旨



2. 議題

発言者	内容
(1) 資料1	氷川参道歩行者専用化検討協議会のこれまでの取り組みについて説明
事務局	～資料1 氷川参道歩行者専用化検討協議会のこれまでの取り組みについて説明～
—	・意見なし
(2) 資料2	歩行者専用化にあたっての検討について
事務局	～資料2 参道周辺居住者との情報共有と意向調査の実施について説明～
委員	・アンケート調査について、氷川緑道西通り線の位置を知らない人もいるので、区役所前通りなどと馴染みのある名称を追加すべきである。
座長	・アンケート調査票については、もう一度修正する時間がある。
委員	・今回は中区間を対象としたアンケートということだが、北区間、南区間の歩行者専用化に関するアンケートはいつ行う予定なのか。
事務局	・南区間は当分先である。 ・中区間の歩行者専用化後は北区間の検討を行っていくことを考えているが、中区間の歩行者専用化による交通に対する影響を見て判断することになる。 ・いずれにしても、歩行者専用化を問うアンケートは、考えられる課題に対する検討を協議会で行って解決できるようにしてから行いたい。
座長	・次回の協議会において、アンケート調査票を確定することになっている。アンケート調査票について、気になることがあれば事務局に問い合わせさせていただきたい。 ・歩行者専用化に向けたスケジュールについては、アンケート結果がもし歩行者専用化賛成の意見が多ければ皆さんから同意書をいただく方向の内容で良いか。
—	・一同了承
(3) 資料3	歩行者専用化後の設えについて
事務局	～資料3 歩行者専用化後の設えについて説明～
委員	・P8の歩行者・自転車の幅員パターンのうち、L型側溝の記述があるが、最近のL型側溝は平坦な形状もあるため、走行上、問題ないのではないか。
事務局	・L型側溝自体の形状や変更も含めて、検討していく。
委員	・限られた幅員を有効活用できるようにしてほしい。
委員	・距離感がないので、幅がわからないが、3mとはどのくらいの距離になるのか。 ・人が中央を多く歩いている場合、自転車はおのずと端を走行するが、初めから端を走らせるために、走行空間の色を変えるのは良いアイデアだと思う。 ・平成ひろばの舗装について、同系色のブロックを使用しており、形状を変えていることの認識はなかった。形だけ変えるのではなく、視覚的にもしっかりわかるようにした方が良いと感じる。 ・また、京都市の事例にあるように、路面に自転車マークがついていることで効果があるように感じるし、舗装の材質が道路に近いというの

発言者	内容
	も、効果があると感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パターン①、②について、1.2mや1.3mにすることは可能か。 ・歩行者専用化になれば、縦になって歩いていた家族が横になって会話をしながら歩けるようになるため、できるだけ広いほうが良いが、今度は逆に自転車走行空間が狭いと、追い越しのために歩道に入ってくる可能性が懸念される。 ・そのため、1.0mや1.5mにこだわらず柔軟に対応できないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1.0mや1.5mも根拠に基づいて設定しているが、1.0～1.5mの幅の中で根拠を見直し柔軟に変更できるかどうか検討する。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車と歩行者の関係について、原則、氷川参道の中区間は歩行者専用化とするため、スピードを出す自転車は氷川参道には進入して欲しくないという前提にしたほうが良いのではないか。 ・スピードを出す自転車は、氷川参道内を通行させず、氷川緑道西通線等を走ってもらうように、誘導していくことは可能なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市自転車ネットワーク整備計画の対象路線に、氷川参道は位置付けられていない。 ・また、氷川緑道西通線は、自転車レーンを設置する計画となっているが、基本的には、中山道から通行するようなルートとなっている。
(4) 資料4 今後のスケジュールについて	
事務局	～資料5 今後のスケジュールについて説明～
—	・意見なし
(5) その他の質問	
—	・意見なし

以上